

## 平成 29 年度 第8回 政策調整会議・政策決定会議 会議録①

- 
- ◆開催日時:平成 30 年1月 11 日(木) 9:34~10:03
  - ◆開催場所:職員会館2階大会議室
  - ◆出席委員:市長職務代理者 大原副市長、根末副市長、樋口教育長、藤原市長公室長  
藤浪企画調整部長、大西総務部長
- 

### ◆審議事項

- ・岸和田市みどりの基本計画改定について……………水とみどり課  
⇒承認
- 

### ◆審議概要

#### 『岸和田市みどりの基本計画改定について』

〈説 明 者〉原水とみどり課長、和田業務推進担当参事、古門整備担当参事、黒見管理担当参事、  
寺谷主査

〈他出席委員〉澁谷建設部長

◎付議依頼書に基づき説明

◎説明後、質疑応答

〈企画調整部長〉市の面積について、告示している市域面積ではなく都市計画区域の面積を用いているが、  
何らかの考え方はあるのか。

〈整備担当参事〉上位計画である都市計画マスタープランと整合を図り、都市計画区域の面積を用いている。

〈企画調整部長〉事業の進行管理に係る指標について、中間目標値が設定されているが、数値の根拠は如何。

〈整備担当参事〉過去の数値変動を踏まえて、現状の傾向が続いた場合の将来予測を行ったうえで、各指標の目標値を設定している。

〈企画調整部長〉指標『市民1人当たりの都市公園面積』は、今後の取組によって数値が左右される。この指標の目標値は現実的な数値なのか。

〈整備担当参事〉都市公園条例において、『都市公園の住民1人当たりの敷地面積の標準値は 10 m<sup>2</sup>以上とする』と規定されており、これを基に目標値を設定している。

〈総務部長〉今後、生産緑地の指定が解除され宅地化が進むのではないかとされているが、これについては本計画でどのように取り扱っているのか。

〈整備担当参事〉指定後 30 年を経過した生産緑地に対する市の対応については、詳細は担当課で検討されるが、本計画では『特定生産緑地指定制度等を活用し、農地の適正な保全を推進する』としている。

〈市長職務代理者〉改定前の計画期間が平成 37 年度までとなっており、改定後の計画と期間が一部重複している。これについてはどう整理しているのか。

〈整備担当参事〉重複した期間については、改定後の計画を本市の計画として取り扱う。改定前の計画は平成11年度に策定しており、その後、人口減少等の社会情勢の変化、関連法令の改正や上位計画の変更等があり、計画期間途中ではあるが改定が必要となった。

〈根末副市長〉本案件について、原案のとおり承認してよいか。

【異議なし】

⇒本件を原案のとおり承認する。

平成 29 年 12 月 28 日

### 政策調整会議付議依頼書

依頼者名 建設部長

下記事項について、効果的かつ効率的な市政運営実施のための会議の設置に関する規程第 14 条の規定に基づき、下記のとおり付議を依頼します。

#### 記

付議事項名	岸和田市みどりの基本計画改定について
付議の目的 (ポイントを絞り込んで、簡潔に記載すること。)	現行の岸和田市みどりの基本計画(平成 12 年 3 月)策定以降、人口減少社会の到来やまちづくりビジョン等の上位計画の改定、更には都市緑地法、都市公園法をはじめとした関連法規の改定もされています。 そこで、現在の社会情勢に適合した計画として改定するため、効果的かつ効率的な市政運営実施のための会議の設置に関する規程第 3 条第 4 号及び 6 号の規定により付議するものです。
説明者	水とみどり課
付議事項の概要	様式別紙に記載(必ず別紙様式をご提出ください。)

別紙

付議会議	平成29年度 第8回会議
付議事項	岸和田市みどりの基本計画改定について

★取組の目的

対象	「岸和田のみどり」(別添P6参照)
どのような状態を目指す	「みどりでつなぐ海と山 みんなで守り育てるみらいのみどり」を基本理念として、市民の協力を得て、将来世代に今のみどりを残すだけでなく、さらにふやし、そだてていくことを目指す。

★総合計画上の位置付け

107010101	基本目標	I-7 豊かな自然を未来につなぐ
↑ここにコードを入力 (コードは「総計体系」を参照)	達成された姿	(1)海から山をつなぐ、水と緑のネットワークが機能している
	目指す成果	①みどりが保全され、まちの緑化が進んでいる
	行政の役割	ア 市民の緑化意識の向上と地域緑化の推進を図る

★現状と課題

標高858mの和泉葛城山をはじめとする山地部や、宅地や農地が広がる丘陵部、市街地が広がる平地部と臨海部が広がり、山から海までの多様な環境が広がっている。それぞれにおける主なみどりとして山地部には森林、丘陵部には農地が広がり、市街地や平地部には公園や街路樹、住宅地の市民が育てているみどりが点在している。  
しかし、森林においては放置森林の増加や竹林の拡大、農地においては後継者不足等にもなう農地の減少、都市公園では長期間未着手の都市公園の存在、街路樹では市道の街路樹整備が一部に留まっていることなど、みどりに関する課題を抱えている。

(単位:千円)

実施中の取組及び予定する事項	決算(見込額)		予算額	見込額					
	H27年度	H28年度		H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度	H34年度
財源内訳	国費								
	府費								
	起債								
	一般財源								
	その他								
事業費			計	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度	H34年度	
			0	0	0	0	0	0	

★当該事項に関連する人員増の必要性\*

人員増の必要性	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度	H34年度
有		(無)			

★取組の効果を表す指標

指標名	単位	H27年度	H28年度	H29年度	目標値				
					H30年度	H31年度	H32年度	H33年度	H34年度
① 基本計画書参照									
②									

※事業費及び人員を確約するものではない。